

令和4年度公益財団法人鹿児島市スポーツ振興協会事業計画書

I 基本方針

当協会は、令和2年4月の設立以降、鹿児島市や旧鹿児島市体育協会からの引継事業等を実施するなか、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、大会やイベント等の中止・延期が相次ぐなど難しい対応を迫られたが、イベントの開催時期や場所、参加人数等を考慮し、ガイドラインに基づく感染症対策を講じながら事業を進めてきた。

設立2年目となる令和3年度は「どこでもヨガ教室」や「せごどんウォーク」、小学生向けの「スポーツ能力測定会」等の新たな事業にもチャレンジするなど、コロナ禍における市民のスポーツ活動の場の創出や、スポーツへの興味・関心の向上に繋げる取組を行った。

令和4年度においても、引き続き新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じながら、鹿児島市が取り組む「スポーツを活かしたまちづくり」を推進し、鹿児島市のスポーツ振興を担う中核的な組織として、設立目的である生涯スポーツ及び競技スポーツの振興を図るとともに、スポーツを通じた交流の拡大を進めるなど、市民の健康増進、活力あるまちづくりの実現に寄与すべく、既存事業の充実や新規事業の推進を図るとともに、業務の効率化にも努める。

II 事業計画

1 地域におけるスポーツ振興及びスポーツ大会等の開催・支援に関する事業

(1) スポーツ教室やイベントの開催

① スポーツ教室

普段スポーツをしない人でも取り組みやすいヨガや太極拳等のスポーツ教室を市内の様々な施設等で開催し、運動の楽しさを感じてもらうとともに、心身の健康を育む機会を創出する。

名称	対象	実施期間	開催地	参加人数
どこでも スポーツ教室	市内に 住む人	令和4年4月～令和5年3月	20会場	計600名

② 地域スポーツ普及事業

毎年2校区を対象に各種スポーツ教室を開催し、スポーツを通して運動の楽しさを感じてもらうとともに、生涯スポーツの振興を図る。(※スポーツ推進委員と連携して実施)

名称	対象	実施期間	開催地	参加人数
地域スポーツ 教室	市内に 住む人	令和4年5月～令和5年3月 *1教室につき全4回講座	2校区	計90名

③ ニュースポーツ普及事業

年齢や体力に関わらず「いつでも・どこでも・だれでも」プレーできるニュースポーツ体験を通して、運動の楽しさを感じてもらおうとともに、生涯スポーツの振興を図る。(※スポーツ推進委員と連携して実施)

名称	対象	実施期間	開催地	参加人数
ニュースポーツ 体験講座	市内に 住む人	令和4年5月 ～令和5年3月	2校区	計90名
タグラグビー 体験講座	市内に住む 小学生	令和4年5月 ～令和5年3月	4校区	計180名

④ ランニング教室

「県下一周市郡対抗駅伝競技大会」「県地区対抗女子駅伝競走大会」鹿児島チームの選手の指導により、走力向上及び体を動かすことへの楽しさを覚える機会を創出するとともに、選手の活躍を応援するきっかけづくりにもつなげる。

名称	対象	実施期間	開催地	参加人数
駅伝選手による ランニング教室	市内に 住む人	令和4年5月 ～令和5年3月	2会場	計240名
持久走大会に向けて の走り方教室	市内に住む 小中学生	令和4年9月 ～令和5年3月	2校区	計100名

⑤ マリンスポーツ普及事業

錦江湾を生かしたマリンスポーツの魅力について、ヨット及びシーカヤックの体験及び初歩的な技術や知識を習得する機会を創出し、マリンスポーツの普及と振興を図る。

名称	対象	実施期間	開催地	参加人数
かごしま ヨット教室	市内に住む 高校生以上	令和4年5月 *全5回講座	平川ヨット ハーバー	40名
ジュニア ヨット教室	市内に住む 小中学生	令和4年5月 *全5回講座	平川ヨット ハーバー	30名
ヨットとふれあう 体験帆走	市内に住む 小学生以上	令和4年7月 *4回開催	平川ヨット ハーバー	計320名
シーカヤック 体験講座(一般)	市内に住む 高校生以上	令和4年5～6月 *3回開催	磯海水浴場、 生見海水浴場	計60名
シーカヤック 体験講座(親子)	市内に住む 小中学生と家族	令和4年5～6月 *5回開催	磯海水浴場、 生見海水浴場	計100名
イルカ水路で 親子シーカヤック 体験	市内に住む 小中学生と家族	令和4年9月 *2回開催	鹿児島水族館 イルカ水路	計60名

⑥ 地元トップアスリートと市民の交流事業

本市に拠点を置くスポーツチームの選手とニュースポーツで交流することで、運動を始めるきっかけづくり及びチームへの興味・関心を高める機会を創出する。(※スポーツ推進委員と連携して実施)

名称	対象	実施期間	開催地	参加人数
トップアスリートと大運動会！	市内に住む人	令和5年2月	鹿児島アリーナ	120名

⑦ 体力テスト

文部科学省が実施する「新体力テスト」を市民向けに実施し、市民の体力・運動能力の現状を明らかにし、行政上の基礎資料として、鹿児島県教育庁へ提出する。また、市民自ら運動する意欲を育てるとともに、今後のスポーツ活動に役立てる機会を創出する。(※スポーツ推進委員と連携して実施)

名称	対象	実施期間	開催地	参加人数
市民体力テスト	市内に住む 20～79歳	令和4年5月～10月	2校区	計102名

(2) 各種大会の開催・運営と開催支援

① 鹿児島市民スポーツ大会（旧鹿児島市民体育大会）の開催

本市における市民スポーツの普及・振興と競技力の向上を図るために開催される大会で、本大会の成績が県民体育大会に出場する選手選考の参考とされるなど重要な大会となっている。

なお、大会運営は加盟団体それぞれで行い、大会に要する経費の一部助成を行う。

② 鹿児島県民体育大会の鹿児島地区チームの運営

鹿児島県民体育大会へ鹿児島地区チームを派遣するため、代表選手の登録事務や、参加経費の一部助成を行う。

③ 南日本U-12サッカー大会の運営

例年、県内外から多くのチームが参加する小学生サッカー大会の実行委員会の事務局として、大会運営を通じてサッカー少年の技術向上と心身の育成及びスポーツ振興に資する。

④ 南日本小学生バレーボール大会の運営

例年、県内から多くのチームが参加する小学生バレーボール大会の実行委員会の事務局として、大会運営を通じて鹿児島県内のバレーボールスポーツ少年団相互の親睦、心身の鍛錬及びスポーツの振興に資する。

⑤ 駅伝鹿児島地区チームの運営

「県下一周市郡対抗駅伝競技大会（南日本新聞社主催）」と「県地区対抗女子駅伝競走大会（南日本放送主催）」の鹿児島地区駅伝運営委員会事務局として、鹿児島地区チームの選手を育成し、大会の参加、派遣などの運営を行う。

また、中学生を対象とした「あすなろ杯」や小学生を対象とした走り方教室を実施することで、駅伝に対する興味を深め、次世代選手の発掘、育成及び競技力の向上を図る。

⑥ 各種大会の開催支援

各種競技の競技力向上、生涯スポーツの振興、参加者相互の親睦を図るため、当協会が大会実行委員として、開催経費の一部負担を行う。

名称	対象	実施期間	開催種目	参加人数
各種スポーツ大会	市内に住む人	令和4年4月 ～令和5年3月	4種目	計2,000名
マスターズ大会	市内に住む シニア世代	令和4年4月 ～令和5年3月	4種目	計1,000名
九州中学生 スポーツ交流大会	市内に住む中 学生及び九州 の強豪チーム	令和4年4月 ～令和5年3月	5種目	計2,000名

2 競技スポーツの振興に関する事業

(1) 加盟団体育成強化事業

① 競技力向上対策事業

中央競技団体から監督・コーチ及び強化選手等を招聘し、本市のトップレベルの選手とその指導者等を集め、実技研修・指導講話会等を開催し、競技力の向上、指導者の資質向上を図る。

名称	対象	実施期間	開催種目	参加人数
実技指導研修会	加盟団体	令和4年4月 ～令和5年3月	1種目	50名

② 加盟団体の育成強化事業の支援

加盟団体が実施する育成強化事業を支援するため、実施事業の経費を一部負担する。

(2) 強化指定選手等への施設利用調整支援

市内の高等学校に在籍する優秀な運動選手及び運動部の競技力をより一層高め、もって、本市における競技力を向上させるため、市スポーツ施設の空きを活用し、その使用について調整を行う。

3 青少年スポーツの促進及び団体の育成に関する事業

(1) スポーツ少年団本部の運営

単位団の団員や指導者等の登録をとりまとめて鹿児島県スポーツ少年団へ登録申請するほか、鹿児島市スポーツ少年団の行事の企画・運営、新規登録団の認定や団員、指導者、役員、スタッフ、育成母集団の資質向上を図る研修、国際交流活動への参加、単位団活動における安全対策などを行う。

(2) ジュニアスポーツの普及

① 運動能力測定会及び育成プログラム

市内の小学校4～6年生を対象に、運動能力測定を行い、スプリント、ジャンプ、バランスなどの測定結果分析により、個々に合ったスポーツやトレーニング方法を助言するとともに、当協会加盟団体による競技体験会の実施により様々なスポーツへの関心・興味を持つきっかけを創出する。

また、測定結果が優秀な児童に対して、専門講師による身体・知的プログラムを実施する。

名称	対象	実施期間	開催地	参加人数
運動能力測定会	市内に住む 小学校4～6年生	令和4年8月	松元平野岡 体育館	180名
すぼどんジュニア アカデミー【新規】	運動能力測定会 優秀者	令和4年9月 ～令和5年3月	全3回	30名

② スポーツ体験会

市内の小学校1～3年生を対象に、発育期の子供たちの体力・運動能力の向上を目的として、基礎的な身体の動作で構成されたダンス風エクササイズと、多種目のスポーツ体験を行うことによって、運動の楽しさや気持ちよさを感じてもらい、スポーツに対する前向きな気持ちを育て、運動機会を定着させる。

名称	対象	実施期間	開催地	参加人数
すぼどんKIDS ワンデースクール【新規】	市内に住む 小学校1～3年生	令和5年3月	鹿児島 アリーナ	500名

4 スポーツに関する団体及び人材の育成に関する事業並びに無料職業紹介事業

(1) 地域スポーツクラブ活動活性化事業

① スポーツ教室の委託

鹿児島市が設立から支援している市内13の地域スポーツクラブに対して、年間30時間以上のスポーツ教室の運営を委託する。

② 地域スポーツクラブ育成連絡協議会における研修の実施

本協会が事務局となっている、市内13の地域スポーツクラブで組織する育成連絡協議会の代表者向けに、講師を招き、参考となる最新情報等を提供する。

名称	対象	実施期間	開催地	参加人数
地域スポーツクラブ 育成連絡協議会研修会	地域スポーツ クラブ代表者等	令和5年3月	鹿児島 アリーナ	20名

③ 地域スポーツクラブ交流

地域スポーツクラブの会員の活動成果を発揮する場を提供するとともに、相互の親睦を深める場として、交流大会を開催する。

名称	対象	実施期間	開催地	参加人数
地域スポーツクラブ 交流スポーツ大会	地域スポーツ クラブの会員	令和4年6月～11月	2会場	計200名

(2) アスリートの地元企業への就職支援事業

本市スポーツの普及と競技力向上を目的として、世界大会や国体・全国規模の大会出場経験を有するスポーツ選手や指導者と、その方々を働き手として受入可能な市内企業との橋渡しを行う。

5 スポーツに関する情報発信に関する事業

(1) 会報誌作成

市内で活動するアスリートやスポーツ団体の紹介、当協会の活動内容等を掲載した協会会報誌「SPORTS×KAGOSHIMA」を年2回発行し、市民がスポーツに興味や関心を持ち、スポーツイベントに参加するきっかけを創出するとともに、当協会の活動の認知度向上に努める。

(2) デジタルコンテンツの運営

ホームページやSNS（インスタグラム、ツイッター等）を活用し、当協会及び当協会の事業に関する情報を積極的に公表し、当協会の活動の認知度向上に努める。

6 スポーツによる交流イベントの開催・支援に関する事業

(1) 本市の地域資源を活用したスポーツイベントの開催

関係団体との連携を図りながら、鹿児島市の自然・歴史・食・温泉・文化等の豊かな地域資源を有効活用し、テーマ別のウォーキングイベントを開催するとともに、スポーツコミッションの設置について検討を行う。

名称	対象	実施期間	開催地	参加人数
鹿児島シティウォーク【新規】	市内に住む人及び 市外からの観光客	令和4年4月 ～令和5年3月	4会場	計200名

7 その他この法人の目的を達成するのに必要な事業

(1) 鹿児島市スポーツ振興協会表彰

本市におけるスポーツの功労者並びに優秀な成績を収めた個人及び団体に対し表彰を行い、生涯スポーツ・競技スポーツの振興に資する。